

ほっかいどう

広報紙

150

2018年は、北海道命名150年
その先の、道へ。北海道

年5回発行
5・7・9・11・2月の下旬

北海道

当たる!
道産品
裏表紙をチェック!

2018年
8月号
平成30年7月発行
通巻226号

【特集】みんなで支えよう!子どもの未来づくり

地域ぐるみで子育てを応援! 子どもの健やかな成長は 私たちみんなの願いです。

北海道に暮らす子どもたちが健やかに成長できるように、
身近な地域でできる応援をしてみませんか。



安心して生み育てられる 環境づくり

子どもたちの輝く笑顔は、地域の活力です。将来を担う子どもたちの成長を、地域ぐるみで応援する環境づくりが大切です。

全国的に少子化が進む中、道は平成16年、少子化対策の条例を全国に先駆けて制定しました。以降10年間にわたって対策に取り組んできた中で、本道の合計特殊出生率※は上昇傾向にあります。平成29年は全国平均の1.43を下回る1.29と全国で2番目に低い水準で、依然として少子化に歯止めがかかっていないのが現状です。

これには、核家族化のほか、仕事と家庭を両立できる環境の一層の整備など、さまざまな要因があるものと考えられます。

このため道では、平成27年度からの「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」に基づく取り組みとして、北海道の特性を十分に生かしながら「安心して子どもを生み育てることができる環境」「子どもが健やかに成長できる環境」という二つの環境づくりを進めています。

※一人の女性が生涯に産む子どもの数に相当するもの

地域全体で子育て家庭を応援するために

人口減少問題の解決に向けて、少子化対策を進めることは重要な課題の一つです。このため道では、道民一人一人が「妊娠・出産」「子育て」などの各ライフステージに応じた切れ目のない支援を受けることができ、住み慣れた地域の中で、健やかにいきいきと暮らすことができる社会の実現を目指しています。

具体的には、市町村や企業などと連携し、乳幼児の医療費給付や妊産婦への交通費助成、保育料の無償化などの経済的支援のほか、子育てに関する情報提供や子育て世帯を応援する協賛企業の拡大、子育て支援拠点などの相談体制の整備、ひとり親家庭などへの支援などにより、地域全体で子育て家庭を応援する環境整備を進めています。

地域の支援の輪を広げるために

北海道では、全国に比べて生活保護世帯やひとり親家庭の割合が高く、経済的に厳しい家庭が多い状況です。

道が平成28年に実施した子どもの生活実態調査からは、所得が低い世帯ほどさまざまな困難に直面する可能性が高く、「必要な医療受診を控える」「支援制度の情報が十分に伝わっていない」「進学に対する子ども本人の希望や保護者の期待が低い」など、家庭の経済状況が子どもの日常生活や進学希望などに影響があると考えられます。

近年、子どもの成長を地域で支え、安心して過ごせる場をつくろうと、子ども食堂をはじめとする子どもの居場所づくりが各地で進められています。

中面では、子どもの未来づくりの詳しい取り組みについて紹介します。

ほっかい家族

作：ヤマモトマナブ（第1回北のまんが大賞 大賞受賞）



夏に気をつける災害は何か?

詳しくは中面へ

▶特集に関するお問い合わせ 道庁子ども子育て支援課 ☎(011)204-5235 北海道 ハグコム 検索